

2 目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

※ 「1 自己評価及び外部評価結果」を評価機関から受領した時点で、3「サービス評価の実施と活用状況(振り返り)」と併せて作成します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	1 (1)	訪問調査時、評価調査員より、職員からの聞き取り時、必ず『理念』の受け止め方や、何で必要なのかを聞いているとお話があり、今更ながら、介護職として『理念』の持つ意味・重要性を再認識させられ、職員全員で『理念』をもって根拠ある介護を行う必要があると感じた	◇職員全員が、介護現場における『理念』の持つ意味・重要性を理解する ◇なごみの『理念』について再確認し、共有・認識合わせを行う	・職員会議の場で、『理念とは？』をテーマに理念の共有・実践に向け勉強会を行う ・毎月開催しているユニット会議の中でも、チームで理念の共有に取り組んでいくよう努めていく ・年度末の職員会議の場で、個人個人が理念の持つ意味・重要性を理解し、それを職員皆で共有しながら実践に繋げていくことができたか否かについて反省・話し合いを行う	早速今月(3月)の職員会議で勉強会を行い、1年後の職員会議で目標が達成できたかについて確認し合う
2	26 (10)	利用者様の高齢化・重度化(身体面・精神面共に)が進んでいることから、定期的にその時々の問題点や課題を見つけ、その解決に向け、チームワークで取り組んでいく必要がある	◇ユニットの職員が一丸となり、各ユニットの問題点・課題の解決に向け、チームワークで取り組んでいく	月に1回開催するユニット会議に於いて、現状における問題点・課題は何かについて話し合い、その中で優先すべき課題を1つ(多くて2つ)選び、次のユニット会議開催時までの1ヶ月間、その課題の解決に向け、チームワークで取り組み評価していく	ずっと継続していく ※現在もこの目標に取り組んでいるが、とても大切なことだと思うから
3					ヶ月
4					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入して下さい。なお、挿入した際は、印字状態を必ず確認して下さい。